

第2章 ICCA 統計、UIA 統計 (ICCA、UIA 基準による世界規模で見る国際会議の動向)

	本章で使用する「ICCA 国際会議統計」について	12 頁
1	大陸別 国際会議の開催状況	13 頁
2	国・地域別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)	14 頁
3	国・地域別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)	15 頁
4	都市別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)	16 頁
5	都市別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)	17 頁

	本章で使用する「UIA 国際会議統計」について	18 頁
6	大陸別 国際会議の開催状況	19 頁
7	国・地域別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)	20 頁
8	国・地域別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)	21 頁
9	都市別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)	22 頁
10	都市別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)	23 頁

本章で使用する「ICCA 国際会議統計」について

本節は、ICCA（国際会議協会：International Congress and Convention Association）が発行している国際会議統計資料を基に作成されています。同統計は、以下の選定基準に基づいて集計されています。

【ICCA 国際会議統計の選定基準】

ICCA が公表している国際会議統計の選定基準は以下のとおりであり、当該条件を満たす会議が ICCA 国際会議統計に反映されます。

- (1) 参加者総数：50 名以上
- (2) 開催期間：定期的で開催（1 回のみ開催した会議は除外）
- (3) 開催国について：3 カ国以上で会議のローテーションがある
(2 カ国間会議、政府系会議、国連主催の会議は除外)

※ICCA 国際会議統計では、参加者総数が 50 名未満または不明の会議でも、ICCA 登録のある過去の同会議シリーズのいずれかの年の会議で 50 名以上の対面参加の実績が確認できれば、基準を満たす会議として登録される場合があります。

ICCAでは、当該年の国際会議統計の発表後、随時過去にさかのぼり、会議の情報を収集しています。そのため、国際会議開催件数はいずれの年も「暫定値」であり、「確定値」は存在しません。

本節では、作成時における暫定値を掲載しています。そのため、同じ開催年でも過去の本統計資料に掲載された内容と数値が合致しないことがあります。

ICCA（国際会議協会：International Congress and Convention Association）

ICCA は、1963 年にオランダのアムステルダムで設立された非営利・非政府の団体。約 100 カ国の 1,000 以上の団体からなり、業界の国際的な交流と会員の地位向上を主な目的としている。「ICCA Statistics Report」を毎年発表している。

1

大陸別 国際会議の開催状況

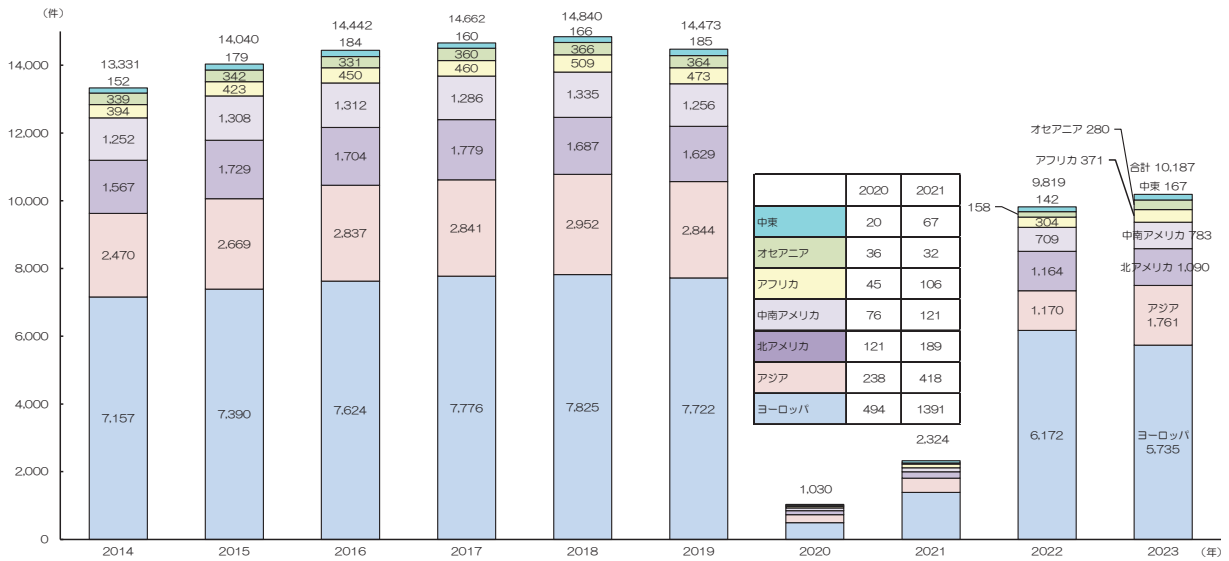
— アジアがシェアを戻し、世界的に回復傾向が続く — 【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による 2023 年の国際会議開催件数 (ハイブリッド開催件数を含む) は 10,187 件となり、2019 年の開催件数の 70.3% まで回復した。

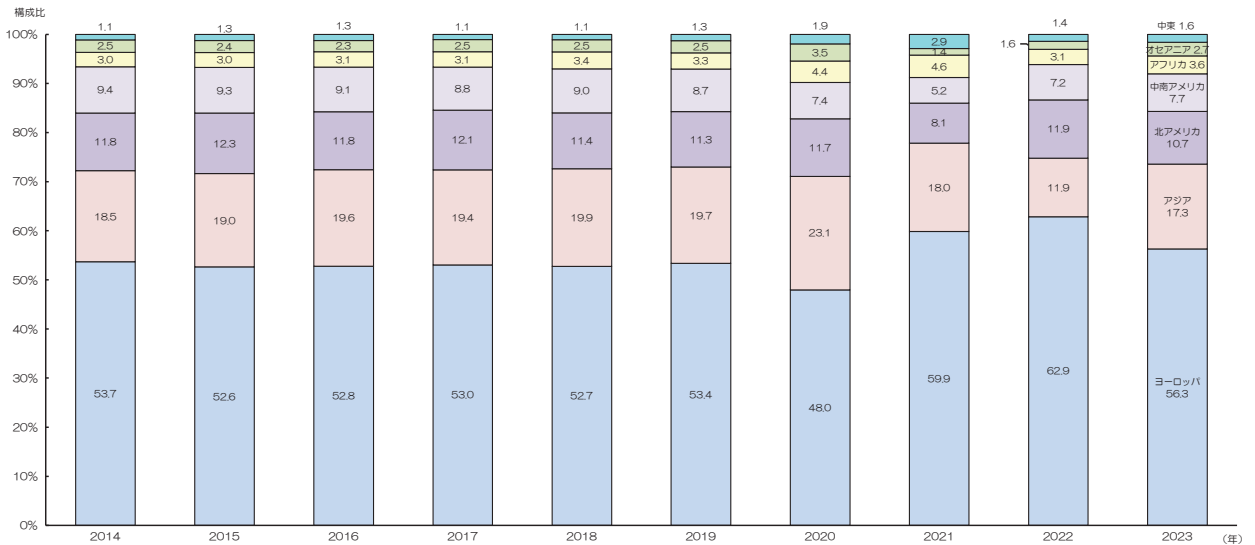
前年 (9,819 件) との比較では 368 件増の微増にとどまるが、大陸別にみると、ヨーロッパと北アメリカは前年より開催件数が減少

している。一方で、アジア、オセアニア、アフリカ、中南アメリカ及び中東ではそれぞれ件数が増加しており、その結果、大陸別の構成比は 2019 年の構成比に近づきつつある。前年との比較ではアジアの開催件数の増加が顕著であり、シェアの拡大幅が特に大きい。

図表 2-1 大陸別 国際会議の開催件数 (2014 年~2023 年)



図表 2-2 大陸別 国際会議の開催件数 構成比 (2014 年~2023 年)



出典：「ICCA Statistics Report (2014~2023)」

注：図表 2-1、2-2 の「アジア」には、ICCA の地域別区分に従い、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、コーカサスの各地域が含まれている。但し、ジョージアは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。

注：ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。そのため、過去の本統計と数値が合致しないことがある。

注：2020 年以降の開催件数はハイブリッド開催件数を含む。

注：構成比は小数点第二位を四捨五入して計算しているため、各構成比の合計は必ずしも 100 にならない。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

2

国・地域別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)

— 欧米が上位を占める中、日本は7位とアジアではトップ — 【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による 2023 年の国際会議開催件数 (上位 20 位) を国・地域別で見ると、1 位アメリカ (690 件)、2 位イタリア (553 件)、3 位スペイン (505 件)、4 位フランス (472 件)、5 位ドイツ (463 件) と前年に引き続き欧米が上位を占めている。アジア・

オセアニアでは前年から 120 件増加した日本が 7 位、韓国が 82 件増の 11 位、オーストラリアが 92 件増の 13 位、中国が 76 件増の 18 位と増加幅が欧米に比べても大きく、前頁のアジア及びオセアニアのそれぞれのシェア拡大に繋がっていることが分かる。

図表 2-3 国・地域別 国際会議の開催件数 (世界全体) (2014~2023 年) (2023 年上位 20 位を抜粋)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
アメリカ	1,058	1,177	1,141	1,125	1,127	1,042	76 (4)	126 (52)	754 (104)	690 (23)
イタリア	559	605	570	609	617	621	39 (9)	103 (48)	577 (47)	553 (16)
スペイン	557	584	613	640	673	648	44 (3)	127 (49)	580 (47)	505 (23)
フランス	622	626	607	590	650	646	36 (4)	120 (43)	515 (34)	472 (21)
ドイツ	739	715	804	791	746	802	64 (9)	118 (41)	539 (33)	463 (21)
イギリス	660	678	721	697	662	615	23 (0)	69 (26)	482 (56)	425 (20)
日本	424	444	497	471	531	548	36 (13)	78 (54)	243 (52)	363 (58)
オランダ	335	352	400	349	415	390	22 (1)	45 (18)	279 (27)	304 (24)
ポルトガル	225	293	324	323	342	363	16 (0)	71 (25)	314 (21)	303 (15)
カナダ	301	349	332	411	355	361	14 (1)	22 (14)	244 (24)	259 (18)
韓国	295	327	315	332	313	262	38 (23)	70 (47)	170 (30)	252 (23)
スウェーデン	259	233	290	299	285	249	14 (3)	37 (13)	195 (19)	227 (6)
オーストラリア	283	275	241	284	288	285	25 (3)	24 (20)	127 (12)	219 (23)
オーストリア	300	280	305	311	273	250	26 (3)	60 (28)	249 (25)	203 (6)
ベルギー	231	256	247	243	302	268	21 (6)	77 (32)	265 (19)	202 (9)
ギリシャ	179	174	179	167	192	223	13 (2)	53 (20)	201 (18)	190 (12)
ポーランド	204	226	235	253	250	224	13 (2)	48 (29)	151 (12)	179 (6)
中国 (香港、マカオ除く)	474	483	557	494	542	572	28 (13)	115 (67)	124 (37)	170 (6)
チェコ	173	195	183	217	190	189	16 (2)	33 (18)	154 (13)	157 (5)
ブラジル	299	313	273	262	258	232	10 (0)	11 (3)	112 (6)	156 (6)

※2020 年以降の下段の () 内の数は「ハイブリッド」会議の件数 (内数)

出典：「ICCA Statistics Report (2014~2023)」

注：ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。そのため、過去の本統計と数値が合致しないことがある。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

3

国・地域別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 2位韓国を開催件数で大きく上回り日本は域内連続首位 — 【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による 2023 年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の国・地域別 (上位 20 位) で見ると、各国・地域とも順調に開催件数を大幅に増やす中、日本は 363 件で 2 年連続 1 位となった。以下、2 位韓国 (252 件)、3 位オーストラリア (219 件)、4

位中国 (170 件)、5 位シンガポール (152 件) となった。2019 年との比較では韓国が回復率 96.2%、オーストラリアが 76.8%、次いで日本が 66.2% である一方、中国は 29.7% にとどまっており、上位の国・地域でも回復状況には開きがある。

図表 2-4 国・地域別 国際会議の開催件数 (アジア・オセアニア域内) (2014~2023 年) (2023 年上位 20 位を抜粋)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
日本	424	444	497	471	531	548	36 (13)	78 (54)	243 (52)	363 (58)
韓国	295	327	315	332	313	262	38 (23)	70 (47)	170 (30)	252 (23)
オーストラリア	283	275	241	284	288	285	25 (3)	24 (20)	127 (12)	219 (23)
中国 (香港、マカオ除く)	474	483	557	494	542	572	28 (13)	115 (67)	124 (37)	170 (6)
シンガポール	139	167	168	170	163	156	7 (2)	31 (16)	103 (16)	152 (15)
タイ	135	171	193	190	220	180	19 (7)	12 (5)	85 (15)	143 (19)
インド	139	164	175	201	170	172	22 (2)	14 (7)	83 (12)	123 (7)
台湾	204	178	187	181	187	170	34 (19)	27 (18)	90 (26)	106 (12)
マレーシア	156	147	139	130	152	152	9 (2)	6 (3)	69 (14)	104 (5)
インドネシア	94	102	126	118	142	105	9 (2)	11 (6)	48 (6)	68 (2)
フィリピン	58	80	78	78	75	72	4 (0)	4 (1)	13 (1)	58 (5)
ニュージーランド	49	55	76	60	70	67	11 (1)	8 (6)	27 (5)	56 (7)
香港	118	140	126	149	149	98	6 (3)	14 (9)	16 (8)	51 (2)
ベトナム	62	57	66	77	64	93	7 (2)	5 (0)	33 (3)	51 (2)
イスラエル	31	52	40	45	51	51	5 (1)	5 (3)	33 (5)	26 (2)
マカオ	19	27	35	40	41	53	4 (2)	3 (3)	6 (2)	23 (4)
ネパール	12	14	13	20	17	20	1 (0)	3 (2)	4 (0)	12 (0)
バングラデシュ	12	9	9	6	11	18	1 (0)	1 (1)	9 (0)	9 (1)
アゼルバイジャン	12	6	10	12	15	15	1 (0)	4 (2)	4 (0)	8 (0)
カンボジア	11	16	14	14	15	15	0 (0)	0 (0)	11 (0)	8 (0)

※2020 年以降の下段の () 内の数は「ハイブリッド」会議の件数 (内数)

出典：「ICCA Statistics Report (2014~2023)」

注：図表 2-4 で取り上げた「アジア」の領域は、ICCA の地域別区分による。

注：ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。そのため、過去の本統計と数値が合致しないことがある。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

4

都市別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)

—欧州が多数を占める中、東京は前年より順位を大きく上げ 13 位に—【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による 2023 年の国際会議開催件数を都市別で見ると、パリが 156 件で 1 位、前年から 49 件増のシンガポールが 152 件と 2 位に大きくランクアップ、3 位リスボンとなっており、前年 1 位のウィーンをはじめ、マドリード、ベルリン、ロンドン、ブリュッセル

ル、アテネなどヨーロッパ各都市の開催件数が減少し、順位を下げる結果となった。東京は、前年に比べ 51 件増と増加数では 49 件増のシンガポールを上回り、開催件数 91 件で 13 位となり、前年の本統計公表時点での 41 位から大きくランクアップした。

図表 2-5 都市別 国際会議の開催件数 (世界全体) (2014~2023 年) (2023 年上位 20 位を抜粋)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
パリ	257	221	213	229	233	257	12 (0)	32 (11)	142 (20)	156 (8)
シンガポール	139	167	168	170	163	155	7 (2)	31 (16)	103 (16)	152 (15)
リスボン	109	150	156	159	160	194	9 (0)	35 (20)	147 (11)	151 (10)
ウィーン	200	182	206	212	196	160	16 (2)	41 (21)	174 (20)	141 (3)
バルセロナ	173	189	201	223	190	173	11 (1)	30 (13)	150 (12)	139 (10)
プラハ	125	143	147	170	158	154	12 (1)	24 (16)	134 (13)	134 (4)
ローマ	113	112	123	120	111	118	10 (1)	22 (11)	91 (6)	119 (2)
マドリード	157	140	150	147	173	172	10 (2)	34 (14)	134 (17)	109 (3)
ダブリン	96	99	127	125	112	120	7 (0)	6 (2)	109 (10)	104 (5)
ソウル	147	149	152	165	139	122	14 (10)	18 (10)	70 (11)	103 (11)
ロンドン	199	203	189	221	185	160	8 (0)	20 (5)	117 (20)	99 (6)
ベルリン	201	192	192	209	191	193	12 (3)	23 (6)	125 (8)	97 (11)
東京	107	112	127	119	133	140	6 (1)	16 (13)	40 (9)	91 (8)
ブエノスアイレス	96	90	110	131	141	131	4 (0)	7 (4)	69 (8)	90 (5)
アテネ	94	89	84	87	109	119	11 (1)	35 (14)	117 (11)	88 (8)
バンコク	84	118	128	130	153	136	11 (3)	7 (4)	52 (10)	88 (8)
コペンハーゲン	110	154	133	147	145	136	9 (0)	33 (10)	113 (10)	87 (3)
アムステルダム	132	121	155	128	148	136	10 (0)	18 (8)	85 (10)	84 (10)
ブリュッセル	127	131	116	101	133	99	11 (3)	47 (16)	129 (11)	76 (1)
ストックホルム	92	93	115	119	109	92	7 (1)	17 (7)	71 (5)	74 (3)

※2020 年以降の下段の () 内の数は「ハイブリッド」会議の件数 (内数)

出典:「ICCA Statistics Report (2014~2023)」

注:ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。そのため、過去の本統計と数値が合致しないことがある。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

5

都市別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 日本は東京 (3 位) と京都 (10 位) の 2 都市がランクイン — 【ICCA 国際会議統計】

ICCA 統計による 2023 年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の都市別で見ると、各都市とも前年に引き続き回復傾向が見られる。1 位シンガポール (152 件)、2 位ソウル (103 件) に続き、東京は 91 件で前年の 5 位から 3 位に順位を上げた。京都は全

体 10 位 (41 件) であった。前年は上位 20 位内にランクインしていた横浜は 23 位 (20 件)、札幌は 30 位 (17 件) となった。また、マニラ (フィリピン)、ベンガルール (インド)、クチン (マレーシア) など新興国での開催件数の増加がみられた。

図表 2-6 都市別 国際会議の開催件数 (アジア・オセアニア域内) (2014~2023 年) (2023 年上位 20 位抜粋)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
シンガポール	139	167	168	170	163	155	7 (2)	31 (16)	103 (16)	152 (15)
ソウル	147	149	152	165	139	122	14 (10)	18 (10)	70 (11)	103 (11)
東京	107	112	127	119	133	140	6 (1)	16 (13)	40 (9)	91 (8)
バンコク	84	118	128	130	153	136	11 (3)	7 (4)	52 (10)	88 (8)
台北	126	124	108	104	106	108	20 (13)	17 (12)	57 (14)	68 (8)
シドニー	78	88	64	81	93	90	7 (0)	2 (2)	34 (3)	64 (10)
クアラルンプール	88	87	74	79	81	100	4 (1)	3 (2)	35 (9)	52 (2)
香港	117	139	126	149	149	98	6 (3)	14 (9)	16 (8)	51 (2)
メルボルン	66	52	62	67	73	59	9 (3)	4 (3)	35 (4)	50 (6)
京都	55	59	64	50	61	62	1 (0)	9 (7)	28 (9)	41 (9)
マニラ	39	59	53	57	55	51	2 (0)	3 (1)	9 (1)	38 (4)
バリ	47	46	56	51	45	44	4 (0)	2 (2)	27 (5)	34 (2)
済州島	48	47	41	50	47	25	6 (4)	23 (15)	28 (7)	31 (1)
ブリスベン	43	33	40	31	34	44	3 (0)	5 (4)	15 (2)	30 (4)
オークランド	22	30	37	24	40	34	3 (0)	4 (3)	11 (1)	27 (5)
北京	126	123	153	106	121	101	3 (0)	12 (7)	23 (4)	26 (0)
釜山	36	32	32	32	39	31	5 (2)	8 (7)	17 (2)	25 (2)
ベンガルール	13	15	17	23	21	16	0 (0)	2 (0)	8 (2)	23 (1)
クチン	24	10	10	6	21	12	0 (0)	1 (0)	9 (0)	23 (2)
大邱	6	19	8	11	11	13	5 (4)	6 (6)	12 (3)	22 (2)
マカオ	19	27	35	40	41	53	4 (2)	3 (3)	6 (2)	22 (4)

※2020 年以降の下段の () 内の数は「ハイブリッド」会議の件数 (内数)

出典: 「ICCA Statistics Report (2014~2023)」

注: 図表 2-6 で取り上げた「アジア」の領域は、ICCA の地域別区分による。

注: ICCA では、国際会議の件数を過去に遡って随時更新している。本図表には作成時に把握した暫定値を掲載した。そのため、過去の本統計と数値が合致しないことがある。

ICCA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

本章で使用する「UIA 国際会議統計」について

本節は、UIA（国際団体連合：Union of International Associations）が発行している国際会議統計資料を基に作成されています。同統計は、以下の選定基準に基づいて集計されています。

【UIA 国際会議統計の選定基準】 ※以下は UIA が公表している統計のうちタイプ A とタイプ B の会議の選定基準となります。

UIA が公表している国際会議統計の選定基準は以下のとおりであり、当該条件を満たす会議が UIA 国際会議統計に反映されます。

- (1) 国際機関・国際団体（UIA に登録されている機関・団体）の本部が主催又は後援した会議
- ① 参加国数 開催国を含む3ヶ国以上
 - ② 開催期間 1日以上

※但し、主催者が国際機関・国際団体であるか否かについては、組織の目的、会員、活動内容等の情報を総合的に勘案し、UIA が判断します。また、主催者が「国際機関・国際団体」でないと判断された場合でも、会議名、展示会併設の有無、事務局の有無等の情報を総合的に勘案し、(1) に該当する国際会議とみなされる場合もあることが判明しています。

又は

- (2) 国内団体もしくは国際団体支部等が主催した会議
- ① 参加者数 300名以上（うち40%以上が主催国以外の参加者）
 - ② 参加国数 開催国を含む5ヶ国以上
 - ③ 開催期間 3日以上

※なお、2023年 UIA 発表「International Meeting Statistics」には(1) に該当するタイプ A の会議のみを計上している。

UIAでは、当該年の国際会議統計の発表後も、随時、情報の更新・修正を行っており、公表数値は「暫定値」であるとしています。ただし、修正後の数値が全て公開されているわけではないことから、本章では、UIAが各当該年に発表した「暫定値」を継続して掲載しています。

UIA（国際団体連合：Union of International Associations）

UIA は、1907年にベルギー・ブリュッセルで設立された非営利・非政府の団体。7万を超える組織団体等に関わる情報の調査・収集・分析を行っており、その一環として、「UIA 国際会議統計」を毎年6月に発表している。

6

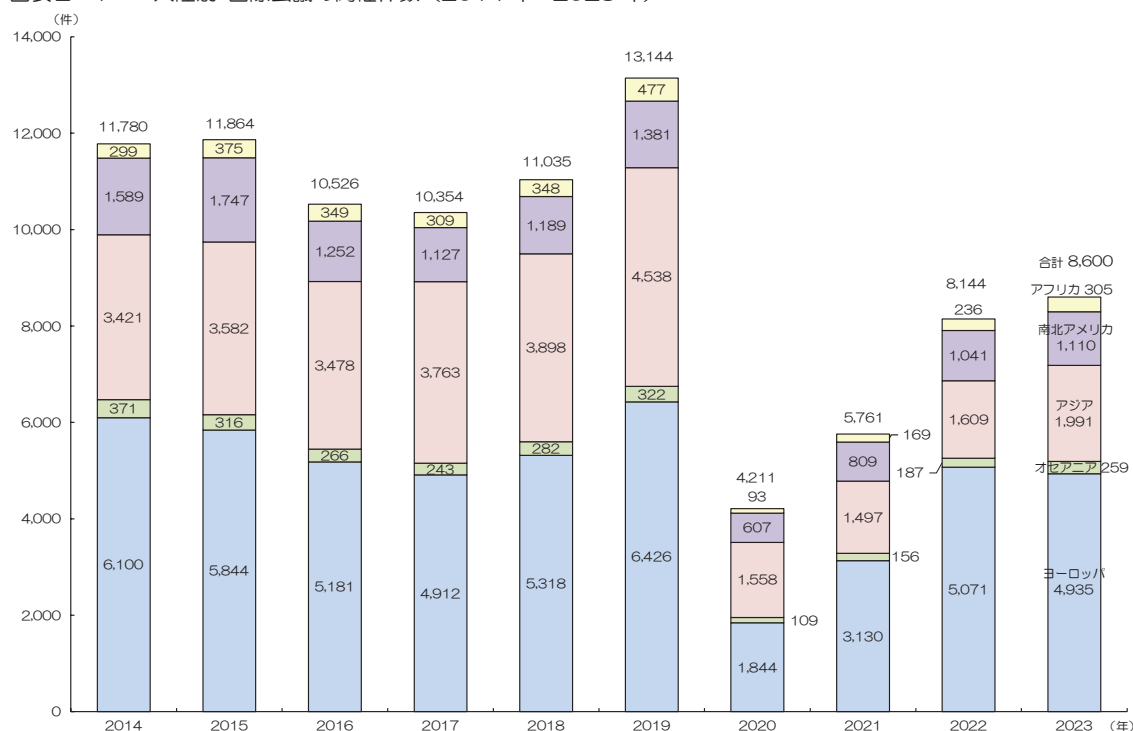
大陸別 国際会議の開催状況

— ヨーロッパ以外で増加傾向、特にアジアでの開催件数が増加 — 【UIA 国際会議統計】

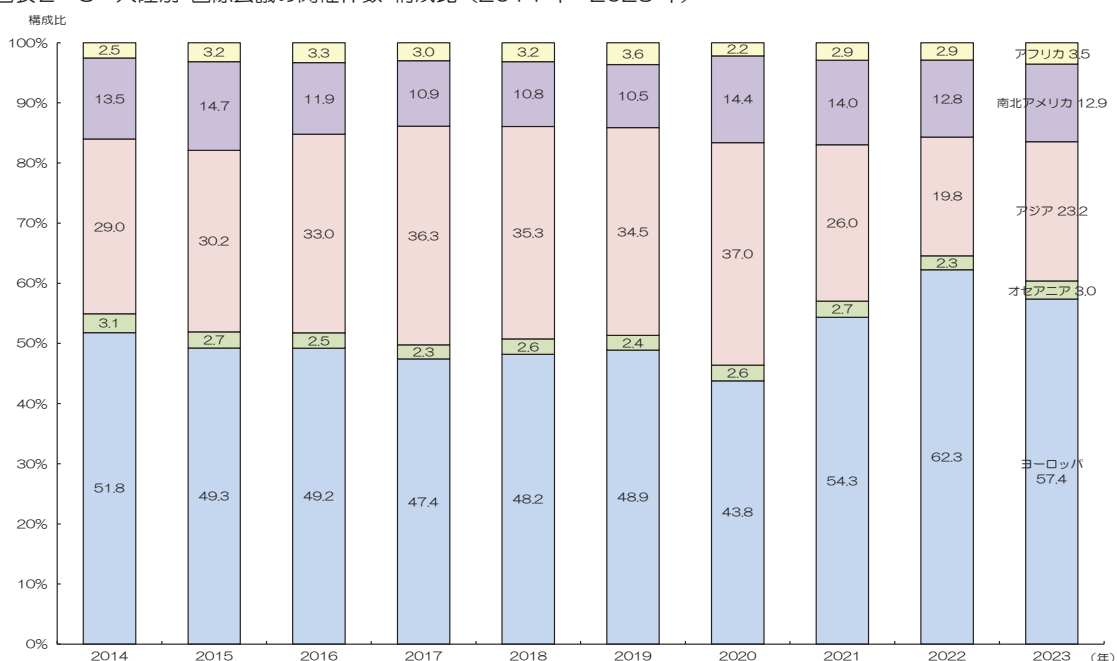
UIA 統計による 2023 年の国際会議開催件数（オンラインやハイブリッドを含む）は前年比 5.3% 増の 8,600 件であった。開催件数と構成比を大陸別に見ると、1 位ヨーロッパ（4,935 件、57.4%）、2 位アジア（1,991 件、23.2%）、3 位南北アメリカ（1,110 件、

12.9%）、4 位アフリカ（305 件、3.5%）、5 位オセアニア（259 件、3.0%）の順となった。前年と比較すると、ヨーロッパ以外のエリアで開催件数が増加しており、特にアジアでは 382 件増とシェアを拡大した。

図表 2-7 大陸別 国際会議の開催件数（2014 年～2023 年）



図表 2-8 大陸別 国際会議の開催件数 構成比（2014 年～2023 年）



注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」及び UIA の地域別区分に基づき JNTO が算出した。
 注：2023 年は UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に基づき、タイプ A の会議の件数のみを掲載している。
 注：図表 2-7、2-8 の「アジア」には、北東アジア、東南アジア、南アジア、中央アジア、中東の各地域が含まれている。但し、トルコ、キプロス、ジョージア、アルメニア、アゼルバイジャンは、「ヨーロッパ」の領域に含まれている。
 注：上記の各数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。同一の国際会議が異なる大陸で開催された場合は、該当する大陸ごとにそれぞれ計上している。
 注：構成比は小数点第二位を四捨五入して計算しているため、各構成比の合計は必ずしも 100 にならない。

7

国・地域別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)

— 日本はベルギー、アメリカに次いで前年5位から3位に — 【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による 2023 年の国際会議開催件数(上位 20 位)を国・地域別で見ると、前年に引き続き 1 位はベルギー(709 件)、2 位アメリカ(633 件)だが、3 位に日本(493 件)、次いで韓国(423 件)とアジア勢がランクアップした。上位 4 か国はいずれも開催件

数が増加しているが、前年 3 位のポルトガル、同じく 4 位のスペインは開催件数が減少し、順位を下げている。前年と比較すると、韓国は 97 件増、日本は 94 件増と件数を増やす中、ポルトガルは 89 件減、スイスは 88 件減と特に大きく件数を減らす結果となった。

図表 2-9 国・地域別 国際会議の開催件数(世界全体)(2014 年~2023 年)〈2023 年上位 20 位を抜粋〉

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
ベルギー	851	737	953	810	857	1,094	338	385	648	709
アメリカ	858	929	702	575	616	750	438	512	583	633
日本	625	634	523	523	597	719	225	408	399	493
韓国	636	891	997	1,297	890	1,113	256	473	326	423
スペイン	513	480	423	440	456	531	96	174	462	395
ポルトガル	150	204	189	181	187	258	49	150	464	375
オーストリア	539	383	404	591	488	417	135	228	317	367
イギリス	355	354	266	307	333	418	186	232	329	322
フランス	561	590	523	422	465	665	141	273	348	314
イタリア	330	385	183	163	236	268	62	176	265	312
ドイツ	439	472	390	374	305	418	162	223	265	285
オランダ	350	340	332	218	286	316	103	147	211	224
オーストラリア	287	253	197	183	222	247	86	125	146	211
アラブ首長国連邦	153	157	185	197	170	180	48	80	132	206
カナダ	228	285	165	242	262	265	73	134	202	188
フィンランド	169	156	166	151	174	314	43	127	213	172
ノルウェー	149	164	135	132	191	243	36	107	213	164
タイ	280	300	279	312	185	345	32	62	90	160
スウェーデン	189	129	152	152	165	201	50	82	123	155
スイス	328	258	234	228	210	249	137	168	234	146

注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値を採用した。

注：2023 年は UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に基づき、タイプ A の会議の件数のみを掲載している。

注：上記の各数値は、複数国で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの国ごとに計上している。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

8

国・地域別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 日本は2年連続首位、シンガポールでの開催件数が大きく減少 — 【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による2023年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の国・地域別で見ると、1位日本(493件)、2位韓国(423件)とトップ2は前年と変わらず、日本は昨年に引き続き首位を維持した。3位以降は順位が大きく変化し、3位オーストラリア(211

件)、4位アラブ首長国連邦(206件)、次いでタイ(160件)、中国(99件)の順となった。2018年から2020年にかけて3年間連続1位、昨年3位のシンガポールは、2023年は大きく順位を下げ8位となった。

図表2-10 地域別 国際会議の開催件数(アジア・オセアニア域内)(2014年~2023年)〈2023年上位20位を抜粋〉

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
日本	625	634	523	523	597	719	225	408	399	493
韓国	636	891	997	1,297	890	1,113	256	473	326	423
オーストラリア	287	253	197	183	222	247	86	125	146	211
アラブ首長国連邦	153	157	185	197	170	180	48	80	132	206
タイ	280	300	279	312	185	345	32	62	90	160
中国 (香港、マカオ除く)	193	144	131	108	132	193	39	74	77	99
マレーシア	103	204	98	90	172	86	18	45	99	94
シンガポール	850	736	888	877	1,238	1,205	780	134	208	90
インド	79	88	72	71	80	87	24	37	53	90
インドネシア	61	71	54	40	70	104	11	29	31	65
台湾	57	43	32	30	32	55	20	34	51	48
フィリピン	34	49	26	34	59	64	20	19	16	39
ニュージーランド	55	35	47	37	39	54	16	22	31	38
香港	41	49	67	39	38	42	10	16	25	28
カタール	33	18	14	9	8	9	3	3	7	19
サウジアラビア	7	7	2	9	10	13	18	2	14	17
ベトナム	25	26	10	15	39	61	9	15	13	15
イスラエル	26	25	16	16	18	26	8	29	15	11
ネパール	3	6	7	4	11	6	1	2	4	10
カザフスタン	15	6	2	11	6	15	2	2	4	9
ウズベキスタン	4	1	-	1	3	5	-	1	3	9

注：各年の数値は、各当該年のUIA発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値及びUIAの地域別区分を採用した。

注：2023年はUIA発表「International Meetings Statistics Report」に基づき、タイプAの会議の件数のみを掲載している。

注：上記の各数値は、複数国で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの国ごとに計上している。

注：上記の「-」は数値不明を表す。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

9

都市別 国際会議の開催状況① (世界全体での比較)

ー 首位ブリュッセルなどヨーロッパ各都市に続き、東京は4位に ー 【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による 2023 年の国際会議開催件数を都市別で見ると、1 位ブリュッセル (620 件)、2 位ウィーン (298 件)、3 位リスボン (294 件)、次いで 4 位東京 (226 件) の順となった。開催件数の増加数では、ソウルが最大の 64 件、次いでシドニーが 60 件増となった。特に減少幅が大きい都市はシンガポールで 118 件減少した

ほか、3 位のリスボンは 42 件減、8 位のマドリードが 38 件減など、上位 20 位のうち 3 分の 1 の都市が前年より開催件数が減少する結果となった。その中で東京は 25 件増で前年の 5 位から 4 位へと順位を上げた。

図表 2-11 都市別 国際会議の開催件数 (世界全体) (2014 年~2023 年) (2023 年上位 20 位を抜粋)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
ブリュッセル	787	665	906	763	734	963	290	319	570	620
ウィーン	396	308	304	515	404	325	109	195	255	298
リスボン	106	147	142	135	146	204	20	94	336	294
東京	228	249	225	269	325	305	122	258	201	226
ソウル	249	494	526	688	439	609	150	265	136	200
ロンドン	125	126	98	166	186	217	101	101	148	139
パリ	325	362	342	268	260	405	61	153	130	124
マドリード	200	140	159	159	201	215	22	37	154	116
バルセロナ	193	187	182	193	152	160	44	67	147	115
ドバイ	136	128	158	120	111	84	30	67	73	114
バンコク	189	242	211	232	121	293	22	47	59	109
ストックホルム	112	87	112	113	119	137	28	45	57	96
シドニー	120	107	72	76	109	103	26	27	34	94
シンガポール	850	736	888	877	1238	1205	780	134	208	90
アブダビ	15	24	24	75	56	92	17	13	58	85
ヘルシンキ	102	90	121	108	128	187	24	55	116	83
アムステルダム	167	125	155	98	98	123	39	47	47	76
ローマ	70	113	42	41	49	58	15	51	44	75
ベルリン	167	215	197	198	131	192	43	41	70	70
モントリオール	74	108	71	146	106	127	41	66	91	69

注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値を採用した。

注：2023 年は UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に基づき、タイプ A の会議の件数のみを掲載している。

注：上記の数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成

10

都市別 国際会議の開催状況② (アジア・オセアニア域内での比較)

— 東京が 226 件で首位、京都、大阪、横浜も上位 20 位内に — 【UIA 国際会議統計】

UIA 統計による 2023 年の国際会議開催件数をアジア・オセアニア域内の都市別で見ると、前年 2 位であった東京が 226 件で首位となった。次いで件数が大きく増加したソウル(200 件)、ドバイ(114 件)、バンコク(109 件)、シドニー(94 件)の順となっている。

前年 1 位のシンガポールは前年から 118 件の減で 6 位に後退した。上位 20 位以内においては日本からは東京のほか、京都(40 件)が 12 位、大阪(24 件)が 16 位、横浜(22 件)が 19 位にランクインしている。

図表 2-12 都市別 国際会議の開催件数 (アジア・オセアニア域内) (2014 年~2023 年) (2023 年上位 20 位を抜粋)

	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
東京	228	249	225	269	325	305	122	258	201	226
ソウル	249	494	526	688	439	609	150	265	136	200
ドバイ	136	128	158	120	111	84	30	67	73	114
バンコク	189	242	211	232	121	293	22	47	59	109
シドニー	120	107	72	76	109	103	26	27	34	94
シンガポール	850	736	888	877	1,238	1,205	780	134	208	90
アブダビ	15	24	24	75	56	92	17	13	58	85
クアラルンプール	50	140	60	54	96	50	14	26	59	49
バリ島	21	30	35	14	18	37	1	10	17	48
濟州島	85	112	116	139	76	96	17	26	33	47
釜山	132	150	152	212	131	160	25	44	33	43
京都	56	56	53	36	58	81	16	27	32	40
仁川	30	19	53	66	70	56	14	52	38	36
メルボルン	62	46	36	31	31	42	16	17	40	26
ブリスベン	28	20	17	23	23	28	5	23	17	26
大阪	39	33	23	6	13	25	6	5	11	24
大邱	18	14	35	43	37	42	4	29	19	23
チェンマイ	17	17	28	28	27	17	4	6	6	23
香港	41	49	67	39	38	42	10	10	20	23
横浜	50	31	36	32	28	31	9	19	13	22
クチン	25	13	8	12	20	12	2	10	13	22

注：各年の数値は、各当該年の UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に掲載された値及び UIA の地域別区分を採用した。

注：2023 年は UIA 発表「International Meetings Statistics Report」に基づき、タイプ A の会議の件数のみを掲載している。

注：上記の各数値は、複数都市で開催された同一の国際会議がある場合、件数をそれぞれの都市ごとに計上している。

UIA 国際会議統計資料に基づき JNTO が作成